



THE Y'S MEN'S CLUB OF KANAZAWA-SAIGAWA

CHARTERED IN JUNE 12, 1993

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF
Y'S MEN'S CLUBS

THE SERVICE CLUB OF THE YMCA

KANAZAWA YMCA : 44-1, SATOMICHO, KANAZAWA, JAPAN 920-0998

<http://www.ys-chubu.jp/saigaways/>

国際会長主題 「信念のあるミッション (使命・目標)」 “Mission with Faith”
 アジア地域会長主題 「愛を持って奉仕をしよう」 “Through Love, Serve”
 西日本区理事主題 「あなたならできる！きっとできる」 “You can do it! Yes, you can!”
 中部部長主題 「踏み出そう 次の一步のための今の一步を」
 金沢犀川クラブ会長主題 「平和を実現しよう！」 “Let's be the peacemakers!”
 会長：平口哲夫、副会長・書記：北 肇夫、直前会長・会計：澤瀬 諭

今月の聖句： ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神 永遠の父、平和の君」と唱えられる。
 イザヤ書9章5節

2016年2月強調月間 TOF・CS・FF

あなたの奉仕で世界が変わる。

川上孝司地域奉仕・環境事業主任 (京都パレスクラブ)

☆☆☆ 2月第一例会案内☆☆☆	☆☆☆ 1月例会報告☆☆☆
<p>日 時：2月6日(土)～7日(日)、初日チェックイン 15:00 から、懇談会 17:00 開始、宴会 18:30 開始。翌日、朝食後は自由、チェックアウト 10:00 までに。チェックアウト後に希望者は石川県埋蔵文化財センター見学。</p> <p>会 場：金沢犀川温泉 滝亭(金沢市末町 23-10)</p> <p>会 費：22,000 円</p> <p>準 備：竹中ワイズ</p> <p style="text-align: center;">*** 初日プログラム ***</p> <p>司 会 : 澤瀬ワイズ 開会・点鐘 : 平口会長 ワイズソング : 一同 今月の聖句 : 司会者 ゲスト紹介 : 司会者 今月のハッピーバースデー : 平口会長 三谷ワイズ、三谷メネット 卓話 : 「バルト海クルーズ体験記」平口会長 事業委員会報告 : 各委員 ニコニコタイム : 澤瀬ワイズ 閉会点鐘 : 平口会長</p> <p style="text-align: center;">— 会 食 —</p> <p>食前の感謝 : 竹中ワイズ * 例会に使用済み切手、アル缶、ウエス用布製品をご持参下さい。</p>	<p>[第一例会] 1月28日(木) 19:00～21:00、金沢都ホテル、日置深夫氏「新春ギター弾き語りの夕べ」、参加者：北・澤瀬・平口・三谷・竹中・竹中メネット。 [第二例会] 1月14日(木) 19:00～21:00、竹中チャペル、参加者：北・竹中・平口。</p> <p>金沢 YMCA スキー教室 2月27日(土)、一里野スキー場。</p> <p>今月の聖句について イザヤ書(全 66 章)については、1～39 章を第一イザヤ、40～55 章を第二イザヤ、56 章以下を第三イザヤとする複数イザヤ説が有力である。紀元前 930 年頃、イスラエル王国は南北に分裂、北のイスラエル王国は紀元前 722 年にアッシリアに滅ぼされ、南のユダ王国は紀元前 586 年に新バビロニアに滅ぼされた。紀元前 715 年頃から 687 年にかけてユダ王国の王に在位したゼバディヤは、アッシリアの属国状態にあった王国を立て直した。このゼバディヤの誕生を念頭においてイザヤ書 9 章 5 節は記されたい(新共同訳聖書では「生まれた」と過去形になっている)。王国が危機的状況にあるときの預言であるという歴史的な脈絡を考慮して読むと、古代の預言が現代人にとっても示唆的な意味を帯びてくる。(平口)</p> <p>2月の当番 司会：澤瀬、準備：竹中 《金沢 YMCA のホームページ》 http://www.ys-chubu.jp/kanazawaymca/</p>

当クラブ	1 月出席者	1 月出席率(正会員)	B F ポイント	ニコニコタイム
正会員 4 名	正会員 4 名	4÷4×100	前月繰越切手 3,270g	前月累計 28,103 円
広義会員 0 名	功労会員 1 名		1 月分切手 24g	1 月 4,700 円
功労会員 1 名	メネット 1 名	メーキャップ 0 名	今年度累計	
	ビジター 0 名		切手 3,294g	
	ゲスト 1 名		現金 円	
合計 5 名	7 名	100%		累計 32,803 円

“TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT”

◆ 1月第一例会参加記 ◆
～新春ギター弾き語りの夕べ～

北 肇夫

演奏家をお迎えしての1月第一例会は、竹中ワイズのお骨折りで1月28日、金沢都ホテルで開催。

今回演奏いただいた日置深夫(へき・ふかお)氏は、2013年8月の第17回中部部会の懇親会でもご披露いただきました。日置氏は、定年退職後に趣味としてギター弾き語りを始められ、近年、毎月1回、モンパ(シテイメント・パラダイスの略)で入居者の皆さんと音楽を楽しんでおられます。



演奏された約10曲うち、前半がシンガーソングライター・きくち寛(ひろし)氏の叙情派曲目で、「届いたミカン」など、「歌には人の心を癒す力がある」をモットーとしています。後半では、一般によく知られているフォークソングが弾き語られました。祖国を南北に分断された人々の思いを込めた「ムジナ川」もそのうちの一つです。

日置氏は、演奏活動を通して趣味を広げ、「第二の人生」を謳歌しているようにお見受けしました。



◆ 愛犬リタの思い出(6) ◆

澤瀬 諭

シベリアン・ハスキーはその名の示すとおり暑さには非常に弱い。犬小屋は家の北側にあり、風通しがよく午前中に日が差す程度のところだった。初めての夏は子犬であったため、朝の散歩のあとは小屋の中で日中の暑さをしのいで夏を乗り切った。二回目の夏を迎えるころになるとすっかり体も大きくなり、小屋が少し窮屈になってきた。大きな小屋に変えてやらなければかわいそうだなと妻と話していた矢先、夕方の散歩にでかけようと小屋に行くとなんと小屋がばらばらに壊れているではないか。成犬になると力が非常に強い犬だとは聞いてはいたが、これほどの体力があるとは想像だにできなかった。「これはこまった、リタ寝るお家がなくなったよ！」と話しかけても我関せずといった顔で平然とたたずんでいた。やむなく家の玄関フードの中で過ごすこととなった。(つづく)



◆ 地中海クルーズ体験記(4) ◆
—イタリアのチヴィタヴェッキア港～カナリア諸島—

平口 哲夫

体験記(3)はブリテン2015年2月号に掲載したので、1年ぶりの続編。前回の末尾に現地時間2014年3月27日(木)「18:00 カサブランカに向けて出港」と記したのですが、出港後、その近辺の海が荒れているため、安全を期して先にカナリア諸島のテネリフェ島(スペイン領)に行くことに。その結果、二日続きの終日航海。

船上では、3月28日9:30からMSCファンダジア・デッキ14のアクア・パークで行われたエアロビクスに参加したり、デッキ5のレセプションエリアでピアノやバイオリンの演奏を聴いたり、レストランを変えて食事をしたり、あちこち散歩しながら写真を撮ったり。29日(木)21:00頃、ジブラルタル海峡通過。21:00～21:30、デッキ6/7のシアターで上演のシンフォニー、クラシカル音楽・ダンスを鑑賞。



3月30日(日)12:40下船。バスでテネリフェ島のデイト国立公園を観光。カナリア諸島は火山の噴火によって出来た島々。溶岩が風雨によって侵食されて出来た奇岩があちこちに。目的地の展望台は標高2000m以上、摂氏7～8度の予想なので、防寒具も忘れないようにとの事前注意がありました。雲の上に出てしまえば晴天ですのでも寒さはさほど感じられませんが、途中は雲の中を行くようなところもあり、遠くに富士山のような山も雲間から見えたり、隠れたり目まぐるしく変化していました。



現地時間3月30日(日)19:00にテネリフェ出港。強風のため、予定していたマティン(マティン島、ポルトガル領)への寄港ができなくなり、代わりにアルチフェ(ランサローテ島、スペイン領)に寄港することに。31日(月)8:00アルチフェに入港、13:10下船、バスでティマンファヤ国立公園観光。まずラクダの行列にお目にかかるのは予想していませんでした。これに乗って散策する時間的余裕がなかったのは残念。(つづく)